

令和4年度粟島浦村地域公共交通協議会による事業一次評価について（お知らせ）

粟島浦村地域公共交通協議会（事務局：粟島浦村産業振興課内）は、粟島浦村、国、新潟県等の関係機関により構成され、地域公共交通の在り方を審議しています。

国が定めた地域公共交通確保維持改善事業実施要領により公表を求められている本協議会で実施した令和4年度の一次評価の概要は次のとおりです。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年1月10日

協議会名: 粟島浦村地域公共交通協議会
 評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
粟島浦村	県道ルート	<ul style="list-style-type: none"> ・頻繁に使用する停留所付近の風雨よけやその代替案等、引き続き利用しやすい環境づくりにむけ検討を行う。 ・コロナ禍ではあるが、全国的な移動制限の緩和で来島者数も増加傾向に転じたことによる刺激や村内行事(島びらき等)の復活で、住民の利用実績はほぼ横ばいで推移している。 	A 概ね計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 住民利用は2,591名(1名あたりの利用回数7.7回)となり、目標2,366人(一人当たりの利用回数7.0回)を達成することができた。これは新型コロナウイルス感染症ワクチンの予防接種等の取り組みが進み、住民の外出意欲が持続した結果と考えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き利用しやすい環境づくりのため、乗降場の在り方等を検討する。 ・村内の事業者とも連携し、外出意欲が高まるような事業を推進する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 5年 1月10日

協議会名: 粟島浦村地域公共交通協議会
 評価対象事業名: 龍島航路運営費等補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
粟島汽船株式会社	粟島と本土(岩船)を結ぶ唯一の交通手段で、通院や買い物などで利用する島民のほか、公共工事関係者や観光客が主となり、利用者には欠かすことができない役割を担っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・船員については昨年3月(36才船員経験6年)、4月に23才(海上学歴2年船員経験2年)合計2名甲板員を雇用した。 ・島内イベントは5月のゴールデンウィークに島開き、6月にクリーンアップ作戦(島内海岸清掃ボランティア)などが開催され、旅客輸送人員は5月は2,058名増、6月は1,066名増。コロナ禍以前には及ばない状況だが昨年度と比べ、旅客は回復傾向。 ・観光協会と連携した誘致は10月にハミングツアーと連携し、チャーター便でのツアーを行った。 ・経費は燃料費高騰(燃料費約400万円増)、退職金支払い(船員費約2,100万円増)もあり、昨年度と比べ約3,000万円増加。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C R4年度の目標に対する実績【旅客輸送人員】 目標56,000人、実績30,338人(達成率54.2%) 【欠損額増加の抑制】 目標(前年度) ▲281,827,937円 実績(今年度) ▲206,027,147円	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も安定的な通航を維持するため、船員の確保・育成に努める。 ・利用者を増やすため島内のイベントを実施し利用促進に取り組む。 ・観光客の誘致増加に向けて観光協会と連携し「あわしま自然体験」での体験を目的とした利用者の誘致や県の支援事業を活用した体験の割引など、若者、子供を対象とした体験イベント等を企画し実施していく。 ・一層の経費削減を行い、欠損額の抑制に努める。